



小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“インスピレーションになろう”

R I 会長：バリ・ラシン 氏

(所属：バハマ、イーストナッソー RC)

地区テーマ：“寛容と思いやり そして和の心”

地区ガバナー：岡野 正敏 氏(所属：門司西 RC)

クラブテーマ：“力を合わせて”

会長 角南 雅徳／幹事 坪根 悟郎



表紙写真(テーマ/トロント市庁舎)

トロント市内には二つのランドマーク的な建物がありますが、その一つがこのトロント市庁舎です。特徴的なデザインのため映画の撮影にも時折使われ、広場にある噴水は、冬場はスケートリンクとして市民に提供されています。

【撮影：豊川会員】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30～13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：豊川 智彰 副委員長：井芹 重文

委員：井手 孝幸・宮島 俊司・城 健一郎・伊井 雅明・弓削 康弘・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためにになるかどうか

本日の例会 第3403回

- ロータリーソング “それでこそロータリー”
- クラブ協議会 No.1

第3402回 例会 記録

5月24日（金）普通例会

・ロータリーソング “我らの生業”

・青少年関係の卓話

第2700地区ローターアクト

代表エレクト 末永 将一 氏

会長の時間

角南 雅徳 会長

5年位前に、福岡地検小倉支部長と話をする機会がありました。支部長によれば、北九州は少年犯罪の質が悪いことが特徴的だ、とのことでした。年齢からは考え難い非行が見られ、非行少年が、暴力団の人的マンパワーに繋がっているという指摘です。その上で、ブロークンウインドウ理論・割れ窓理論を説明されました。これは、治安のよい街に、誰かが1台の車を乗り捨てて放置した。雨風にさらされ、車が汚れてきたにも関わらず所有者は取りに来ない。何をしても文句を言わないので

ろうという気持ちを皆が持ち始めた頃、誰かが車の窓ガラスを割った。次の日には、車に落書きがされ、その後の日には、窓ガラスは全部割られ、中が荒らされ、タイヤ等も盗まれた。その後は、地域の壁に落書きが始まり、麻薬の密売、売春、強盗が起きるようになった。いつの間にか、平和で静かな町は、犯罪率の非常に高い街になってしまった、という話です。この町の失敗は、ブロークンウインドウが起きた時に、対処しなかったことでした。小さな犯罪に対し厳然と対応し、犯人を見つけ处罚する。その前に、不法に放置された車両が出た時に、町の人が動かなかったことでした。結果、ブロークンウインドウをきっかけにして、町の空気が変わったということです。逆を言えば、治安が悪い街を変えるには、その町の空気を変える事です。よく掃除が大事というのは、単に街の美化のみが目的ではなく、むしろ、それによって町の空気を守る事が大事と考えます。この考えは、単に街の治安の問題に限らず、会社経営にも通じる大切な考え方であると言われています。アップル社のスティーブ・ジョブズ氏も、この考え方によってアップル社を立て直したそうです。

幹事報告

坪根 幹事

・本日、会員候補者入会に関してのお知らせを配布しています。理事会では、会員増強選考委員会の意見をまとめた上、検討審議の結果、当クラブ入会に同意致しました。被推薦者の入会に異論がありましたら、5月30日

までに文書をもって理事会までお申し出願います。

・来週・再来週はクラブ協議会です。各委員長は、下定期の報告をよろしくお願ひします。欠席の場合は、代わりの委員の方にご依頼ください。

出席報告

佐竹 委員長

2018年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当日の出席	61名	39名	—	72.22%
先週の出席	61名	32名	27名	96.30% 修正後

◆ゲスト 1 (卓話者)

◆ビジター 2名

- ・岡部 友和 様 (辰巳法律事務所 弁護士)
- ・久田 有友 様 (辰巳法律事務所 司法修習生)

ニコニコ献金

坪根 幹事

6,000円 : 累計金額 372,315円

松元 照仁 君

先日は、小倉城の流鏑馬で、草刈正雄さんと共に総奉行の役を無事に務めることができました。ご声援ありがとうございました。

原田 光久 君

21日に、元会員の木曾長さん宅(医院)に、木曾さんや盲導犬が文部科大臣等と写った写真の載った週報をお届けしました。色々なことをお聞きし、木曾さんとのご縁の深かった後藤清一氏(三洋電機相談役 2003年没)の著書『叱り、叱られる記』(日本実業出版社刊)という、木曾さんの書入れがいくらかある本を頂きました。

辰巳 和正 君

①5月15日に、もちパレスで丘みどりさんを最前列から応援しました。

②5月22日に、小倉高校の後輩でブライムス国際コンクールにて世界一のバイオリニストになった、中村太地さんのライブを美女と楽しみました。

青少年関係の卓話

第2700地区ローターアクト

代表エレクト 末永 将一 氏

『ローターアクトクラブの活動紹介』

ローターアクト(以下、RAC)は、RCの青少年奉仕プログラムのひとつです。IACが高校生の団体であるのに対し、RACは18~30歳の青年男女で構成される団体です。また、「RAC」は、Rotary Actionの造語で、自らが「行動」することで様々な経験をしながら活動をし



ています。RACの始まりは、1968年3月、アメリカでノースシャーロット RACが設立されたのがきっかけで、現在、180か国以上の国・地域に10,000以上のクラブがあります。第2700地区では、14クラブ・約180人で活動中です。RACの活動目的は、①世界各地で末永い友情を培うこと ②地域社会と世界のリーダーとなること、の2つです。

RAC活動の基本は、月2回の例会です。例会テーマは、自分たちの趣味でも良ければ、最近の時事問題を取り上げても良いし、何でも構いません。テーマを決めたら、約2ヶ月の準備期間を経て、発表を行います。参加者に興味を持って聞いてもらうために、時には寸劇を行ったり、実際にインタビューや現地調査を行った映像を紹介したり、様々なツールを活動します。この例会を行う中で、企画力やスケジュール管理能力、チームで1つの内容をまとめる力、コミュニケーション能力、そして、当日発表を行うプレゼンテーション能力と、様々なスキルが身に着いているように感じます。

RACの活動は、自己成長の機会にあふれています。もし、お近くに18~30歳のお知り合いや、社員の方等いらっしゃいましたら、私たちにご紹介ください。必ず、良い経験をして成長することができます。

次年度親睦活動委員会 報告

日 時：5月24日（金） 18時30分～

場 所：キアッソ

参加者：加藤(守)、八尋、合馬、村上(充)、山口、大迫、村上(公)、種生、篠原、中村(綜合警備保障)

次年度会長・幹事にもご参加頂き、次年度親睦活動行事(主に上半期)を決めました。今回は70周年関連行事やIM準備を考慮しながら、同時に会員の皆さんが充実して楽しめようとして親睦行事を組みました。その後は懇親会へ移り、イタリアン料理とワインを堪能しながら交流を深めました。



【報告者・合馬】

米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・伊与田・佐竹・原田(鉄)・原田(光)・増田

合計

累計金額 (2018-19年度)

30,000円

563,000円

【次回例会予告】

6月7日（金）普通例会

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・クラブ協議会 No.2